



佐土原ロータリークラブ週報



ロータリーを
祝おう

100年の歩み

会長：林厚雄
副会長：岩切正司
幹事：藤堂孝一

会計：柳田光寛
会報委員長：宮原建樹

2004-2005年度R1テーマ

第861回 平成16年11月24日(水)

本日のプログラム

1. 点鐘
2. 食事の時間
3. ロータリーソング
4. 「奉仕の理想」
5. 四つのテストの唱和
6. 会長の時間
7. 幹事報告
8. 委員会報告
9. ゲスト卓話

第860回の記録 平成16年11月17日(木)

☆会長の時間 会長 林厚雄君

今日は、ロータリーの歴史第4回目を話したいと思います。

1897年1月27日ポールはシカゴで弁護士を開業することになりました。当時のシカゴは、万国博覧会での過剰な建設に加えて全国的な不況が重なり、社会倫理などどこ吹く風とばかり弱肉強食の見にくいありさまでした。そんな社会状態ですから、失業者が町に溢れ、不正、汚職、詐欺、放火、暴力が横行していて、全くの無法地帯と化していたそうです。

そんな時でしたので、最初の弁護士事務所は、町の雑居事務所の中に3人で組合を作って設けました。

しかし、一人の仲間は山で猛吹雪に遭い命を失い、もう一人は他の弁護士事務所に移ってしまいました。その後、新しい弁護士と共に「ハリス・アンド・ドッズ」という事務所を開設しました。ここでは父親と同じぐらいの年齢で特別に勝れた才能を持った弁護士と一緒にしたので、ポールはどんな事件をどう処理すればよいかなど多くの解決方法をこの人に学ぶことができました。1900年、シカゴの景気は、アメリカ経済が回復し始めたことによって、すこしづつ立ち直ってきました。しかしポールの心の中には、荒涼とした社会の姿に失望し、孤独感にさいなまれていました。

そのような状態ですので、何か不安で、確実な理念を見出そうと住居を30回も移ったり、解決を求めようと色々な宗教や教会を訪ねまわっています。

これを見てもポールの悩みがどんなに深かったということが解ります。こんな心の苦悩下にあって、ある日友達の弁護士と夕食後散歩をしているとその友達が彼の知人である商人達と親しく話している様子を見て、ポールはふと悟りました。

この人たちは、医師、弁護士、鍛冶屋、食料雑貨店、金物屋、獣医を問わずいずれも自分の知識や技術、経験を生かして、他人のために尽くすことによって地域社会に貢献し、楽しく話し合いをしている。ポールは、政治や宗教を離れて、多業種から1人づつ集めたグループを作ってみたら、その人たちはおたがいの親睦も深まり、お互いが助け合う関係が生まれるに違ないと気付いたようあります。

またある晩、ポールは同業者の友達に連れられて、郊外の彼の家を訪ね夕食後近所を散歩している時、友達は店の前を通るごとに、店の主人と名を呼んで挨拶するのでした。これを見てポールはニューイングランドの村にいたときの事を思い出しました。

ニューイングランドの谷間の緑の原や、心優しい昔の友達を恋焦がれ、また、少年時代に山や丘を友達と歩き回った思い出が津波のように沸き起つてポールは心いっぱいになったそうです。その時浮かんだ考えは、この大きなシカゴで、さまざまな職業から一人づつ、政治や宗教に関係なく、お互いの意見を広く許しあえるような人を選び出して、一つの親睦関係をつくれないものだろうか、ということでした。こういう親睦関係ができれば、必ずお互い助け合うことになるはずです。そして、いよいよポールは、いろいろと熟慮を重ね、構想を練った後にシカゴにロータリークラブの基礎を築くことになります。

その日は1905年の2月23日の木曜日でありました。この日の夜は、空は晴れていましたが気温は身を切るような寒さで、川には厚い氷が張っていましたと記されています。その当時の日本では、1904年、日露戦争が勃発し、翌年の1905年には、日本海海戦で、日本の圧倒的な勝利で終結しています。

例会場：石崎浜荘 0985-73-1913 事務局：〒880-0211 宮崎県佐土原町大字下田島 20614-29

例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 TEL: 0985-73-7170 FAX: 0985-73-7170

幹事報告

幹 事

藤堂孝一 君

1. 例会変更通知

宮崎西RC 12月3日 18:30 年末家族会
(フェニックスカントリークラブ)

2. 三木ガバナーから地区大会のお礼と、写真展事
物のことについて案内が来ております。

3. ポリオプラス委員長 大渕P・G

2004・2005年度ポリオ撲滅キャンペーンの案内
が来ております。ロータリー財団委員長の浜田
会員で、とりまとめをお願いします。

親睦委員長

太田 忍 君

11月のセレモニー おめでとうございます。

会員誕生日

梶田與之助君 中武幹雄君 荒武義博君

結婚記念日

福井輝文君 後藤明夫君 堀口英明君
中武幹雄君 近藤 章君

奥様誕生日

梶田規子さん

出席報告

出席委員長

梶田与之助 君

会 員 数	29名
例 会 出 席 者	22名
出 座 率	75%
メークアップ者数	3名
修 正 出 席 率	88%
欠 席 者 数	

欠席者は例会前日お昼まで班長に連絡を…
例会には皆様できるだけ出席を…

委員会報告 クラブ奉仕委員長 岩切正司 君

奉仕する人1番報われる。

クラブ奉仕の中にある、ロータリーの精神です。
奉仕をすることは、時間とお金がかかります。なぜ
その人が報われるのか不思議に思っていました。
いや、意味がわかりませんでした。

このコーナーでは具体的なことは書きませんが、
結果的に奉仕をすると、たくさんの人と出会います。
人と親しくなります。1番新しい情報がけいります。
その情報を活用することで報われているのです。

仏教では、このようなことを、ご利益があったと
いうのでしょうか。そこで大事なことは、おかげさ
ま、ありがとう、と言う感謝の気持ちを常に持ち、
そしてお恥ずかしいことと反省する心であれば常に
報われることでしょう。

■ 四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

早速のハッピーありがとうございます。

☆ 佐土原ロータリークラブの皆様から家内と共に誕生日の記念を頂き厚くお礼申し上げます。
私は65歳で国民年金が少額出ることになっております。家内は63歳で後2年後です。奉仕の精神で今後とも皆様と一緒に健康に留意して頑張って行きましょう。有難うございました。

梶田與之助・規子

☆ 結婚26年目を迎えました。

後藤明夫

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 次回予告

☆12月1日(水)
フォーラム
「ロータリー家族月間にあたって」

☆12月8日(水)

職場訪問「藤堂産業」

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇